

今週（6月2日から6月6日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調にみられる展開となった。出会いレートの水準は、0.475～0.478%程度で安定的に推移したため、無担保コールO/N物の加重平均レートは、2日(月)から5日(木)まで0.477%の横ばい推移となった。6日(金)も大きな変化は見られず、概ね横ばい圏での取引が中心となった。
ターム物に関しては、1W～1M程度で0.55～0.60%近辺、3M程度で0.60%近辺で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、2日(月)に財政資金の揚げにより527兆円程度まで減少して始まった。その後は普通交付税交付金のまとまった支払いも見られたが、税上げや国債発行による減少要因の影響が大きく、4日(水)までに519兆円程度まで減少し、その後は概ね横ばい圏での推移となった。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、0.47～0.50%で推移した。週前半は付利金利近辺で安定して推移したが、週後半にはレートが低下する展開となった。
SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。
6日(金)に実施された3M物入札は弱い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは特段の出会いはなく、閑散な地合いとなった。

●CP市場

今週のCP市場は、石油、鉄鋼、卸売業など、複数の業態で大型発行が行われた。
市場残高は、先週末から4,000億程度増加し、24兆円台前半での推移となった。
発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/2 (月)	37,470.67	1.505	143.57	0.477	0.494	5,268,000
6/3 (火)	37,446.81	1.480	142.77	0.477	0.494	5,220,400
6/4 (水)	37,747.45	1.500	144.25	0.477	0.492	5,187,100
6/5 (木)	37,554.49	1.460	142.71	0.477	0.480	5,196,800
6/6 (金)	37,741.61	1.455	143.67	0.477	0.485	5,189,800

来週（6月9日から6月13日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/9 (月)	1-3月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 4月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 5月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	TDB 6M 6/10発行 35,000億円			4月の米卸売売上高
6/10 (火)	5月のマネーストック(日銀 8:50)		流動性供給 6/11発行 6,500億円		
6/11 (水)	5月の企業物価指数(日銀 8:50)				5月の米消費者物価指数 5月の米財政収支
6/12 (木)	4-6月期の法人企業景気予測調査季報 (内閣府・財務省共管 8:50)		流動性供給 6/13発行 4,500億円	1ヵ月借入 6/20借入 8,315億円	5月の米生産者物価指数
6/13 (金)	4月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	TDB 3M 6/16発行 44,000億円			6月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/9 (月) 日銀予想	300	4,500	4,800	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 100 ▲ 100 300		100	4,900	TB3M発行▲44,000償還45,000
6/10 (火) 弊社予想	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	TB6M発行▲35,000償還35,000
6/11 (水) 弊社予想	500	▲ 6,500	▲ 6,000	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 14,000	流動性供給▲6,500
6/12 (木) 弊社予想	500	▲ 1,000	▲ 500				0	▲ 500	源泉所得税揚げ 社会保障費払い
6/13 (金) 弊社予想	500	79,000	79,500				0	79,500	年金定時払い 流動性供給▲4,500 交付税借入▲11,000期日13,000
週 間 合 計	2,800	74,000	76,800	—	▲ 7,900	0	▲ 7,900	68,900	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.45～0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、9日(月)に6M物、13日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、11日(水)に五・十日の前倒し発行が予定されており、四半期末越えの案件がどこまで膨らむか、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、9日(月)に1-3月期のGDP 2次速報、5月の景気ウォッチャー調査、11日(水)に5月の企業物価指数、12日(木)に4-6月期の法人企業景気予測調査季報、海外では11日(水)に5月の米消費者物価指数、12日(木)に5月の米生産者物価指数などの発表などが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入